MST グループ　責任ある鉱物調達方針

1. 基本的な考え方

株式会社マブチ・エスアンドティーおよび MST グループ（以下、当社グループ）は、責任ある調達を推進し、鉱物を含む原材料の調達において、人権侵害、紛争、腐敗、不正行為等の社会的課題に加担しないよう努めます。

2. 適用範囲

本方針は、当社グループの調達活動に適用します。

3. 対象鉱物

本方針の対象は、事業に関連する次の鉱物および鉱物を含む部材とします。

- タンタル、錫、タングステン、金（いわゆる 3TG）
- コバルト、マイカ
- その他、顧客要求や国際的な動向により対応が求められる鉱物

4. 重点的に回避する事項

当社グループは、以下に関連すると認められる鉱物について懸念を持ち、適切な対応に努めます。

- 強制労働、児童労働、人身取引
- 拷問、残虐な行為その他の深刻な人権侵害
- 非国家武装集団や公的・民間の治安部隊への不当な資金提供
- 贈収賄や腐敗行為
- 違法な採掘や取引、マネーロンダリング

5. 取引先への協力要請

当社グループは、サプライヤーに対し、本方針の趣旨への理解と可能な範囲での協力を求めるとともに、必要に応じて鉱物の原産地やサプライチェーンに関する情報提供を依頼することがあります。また、責任ある調達を推進するため、サプライヤーとの連携に努めます。

6. リスクの確認と対応

当社グループは、顧客要求、法令要求および事業上の必要性に応じて、サプライチェーン上のリスク把握に努めます。高いリスクが認められた場合は、取引先と協力して状況の確認および改善を進めます。

7. 顧客要求への対応

当社グループは、顧客からの責任ある鉱物調達に関する調査依頼に対し、取引先と連携しながら

誠実に対応します。

8. 相談・通報窓口

当社グループは、「MST グループサステナビリティ相談・通報窓口」を運用し、社内外からの責任ある鉱物調達に関する相談および通報を受け付けます。通報者の秘密を守り、通報したことを理由とする不利益な取扱いを禁止します。

9. 教育・啓発

当社グループは、本方針の理解促進のため、役員および従業員への周知・教育に努めます。

10.継続的改善

当社グループは、事業規模および事業内容に応じて責任ある鉱物調達の取り組みを段階的に向上させます。

2026 年 9 月 14 日

株式会社マブチ・エスアンドティー

代表取締役社長　馬淵　崇